

1. 科目名 (単位 数)	基礎演習Ⅱ (1単位)	3. 科目番号	GEBS2108
2. 授業担当教員	八賀 洋介		
4. 授業形態	演習、発表、グループ討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>心理学は科学として在ることを示すことで生まれ、また経験と実践の学としても積みあげられてきている。学問としての心理学を学んでいくにあたり、心理学的なものの見方や考え方を養うことは欠かせない。これは、先人の研究成果を正確に読み取り、自身の意見を論理的に組み立てることであつたり、臨床心理学的な観点から人間理解を深めることであつたりする。</p> <p>本講義においては、心理学の専門的内容を学び始める準備として、心理学の基本的なテーマを取りあげながら、基礎的な知識を身につけると同時に、学問としての心理学の視点・観点を身につけることをねらいとする。講義においては演習や議論、発表を通して、知識と同時に体験的な理解を深めていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 心理学的なものの見方や考え方を体験的に身につけていく。 2 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学ぶ。 3 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養う。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポ ート課題	講義内容に応じたアサシメントが課される。各回の事前・事後学習を十分に達成してから講義に臨むこと。詳細については授業時に説明をおこなう。		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 桑田てるみ (著) 『学生のレポート・論文作成トレーニング』実教出版</p> <p>【参考書】 松井豊 (著) 『改訂新版 心理学論文の書き方ー卒業論文や修士論文を書くためにー』河出書房新社。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心理学的なものの見方や考え方を体験的に身につけることができたか。 2) 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学べたか。 3) 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養えたか。 <p>○評定の方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加や発言)50%、試験にかかわる課題レポート50%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>心理学論文の輪読を通じた心理学の基礎知識の習得や、「心理学実験」等の今後のカリキュラムにおけるレポート作成の前提となる知識・技術を身につけることを重視した授業です。文章を書くことや心理学実験レポートの体裁を学ぶことを意識した内容になります。1年次の「文章表現」や「心理学統計法」の講義内容を復習してから臨んでください。なお、皆さんの理解度・達成度によって講義内容を変更する場合があります。</p> <p>わからないことについては、質問を歓迎します。なお、演習の課題への取り組みを評価しますので、欠席・遅刻・早退や、内容に関連しない私語、居眠り、その他の理由による不参加等は減点の対象となります。また、授業と無関係の理由による携帯電話の使用は厳禁とします。</p> <p>授業には教科書を携えて参加してください。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で提示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション： 研究レポート(研究論文)とは	事前学習	本シラバスの内容を熟読し、本講義の学習内容および受講ルールを把握しておく。
		事後学習	「感想文」と「学術レポート」の違いを明確にし、まとめる。
第2回	レポート・論文のルール	事前学習	教科書の該当箇所を読み、引用とは何かを理解する。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第3回	論文の種類を知る	事前学習	教科書の該当箇所を読み、論文と他の文との違いは何かを考える。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第4回	発想力をつけよう：考える方法のティップス	事前学習	教科書の該当箇所を読み、どのような方法が何をするためにあるか知る。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第5回	読解し要約しよう：文章から意味を読み取る	事前学習	教科書の該当箇所を読み、読むことと理解することの本質について考える。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第6回	批判的思考力をつけよう：疑問を持ち主張を持つ	事前学習	教科書の該当箇所を読み、どうすれば的確に批判的思考ができるのかを考える。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第7回	表現力をつけよう：論理的な思考法	事前学習	教科書の該当箇所を読み、事実と意見はどういう関係にあるのか考えよう。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。

第8回	情報リテラシーを身に付けよう：情報の探索と整理	事前学習	教科書の該当箇所を読み、情報収集のためのインターネットや図書館の活用法を整理しておく。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第9回	課題考察力をつけよう	事前学習	教科書の該当箇所を読み、自分の論点と主張を形作る上での文献の役割を考えよう。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第10回	グループワーク：リサーチクエッションのすり合わせ	事前学習	第9回までの授業内容を振り返り、課題の下調べをする。
		事後学習	グループワークの内容を整理する。
第11回	グループワーク：収集した文献の共有と課題考察	事前学習	関連文献を収集し、関連箇所を報告する準備を行う。
		事後学習	グループワークの内容を整理する。
第12回	グループワーク：収集した文献の共有と課題再考察	事前学習	関連文献を収集し、関連箇所を報告する準備を行う。
		事後学習	グループワークの内容を整理する。
第13回	グループ発表1	事前学習	グループで協力して発表準備を行う。
		事後学習	発表および質疑応答の結果から考えた修正点をフィードバックする。
第14回	グループ発表2	事前学習	グループで協力して発表準備を行う。
		事後学習	発表および質疑応答の結果から考えた修正点をフィードバックする。
第15回	まとめ	事前学習	提出された各意見を読む。
		事後学習	これまでに収集した文献とグループワーク及び発表結果から報告型レポートを作成する。